

近年の取り組み

1. 大規模改造工事

道立学校において、教育環境の改善及び建物の耐久性の向上を図るため、建築後15年以上経過した非木造の建物を対象に、建物の損耗、機能低下に対する復旧措置である大規模改造工事を行っています。

屋上防水、外壁改修、配管改修、窓枠・建具改修、ボイラー取り替えなどを主な内容とし、一部に旧耐震基準校舎を有する場合には合わせて耐震補強工事を実施しています。

[主な整備内容]

(H15北海道江差高等学校大規模改造工事)



外壁改修前



外壁改修後



屋上防水改修前



屋上防水改修後



(H 1 5 北海道旭川商業高等学校大規模改造工事)



機械室改修前



機械室改修後

[耐震補強]



耐震壁設置前



耐震壁設置後

2 . 情報化設備整備工事

道立学校において、インターネット情報を活用したり、校内で共有するデータやコンテンツを授業等に活用できるよう、校内LANシステムを整備しています。

[主な整備内容] (H 1 5 高等学校教育情報化設備整備工事 (北海道紋別南高等学校))



LAN用分電盤、メインSW-HUB等



SW-HUB (産振棟EPS室)



情報用コンセント



3. 防災対策緊急整備工事

災害時における防災機能の整備を図るため、市町村から災害時の避難所に指定されている道立学校を対象に、建物の耐久性を高める補強、並びに避難施設としての整備を行っています。

[主な整備内容](H15北海道佐呂間高等学校防災対策緊急整備工事)



トイレ・シャワー棟増築



ボイラー室



多目的トイレ



シャワー室



4. 太陽光発電システム設置工事

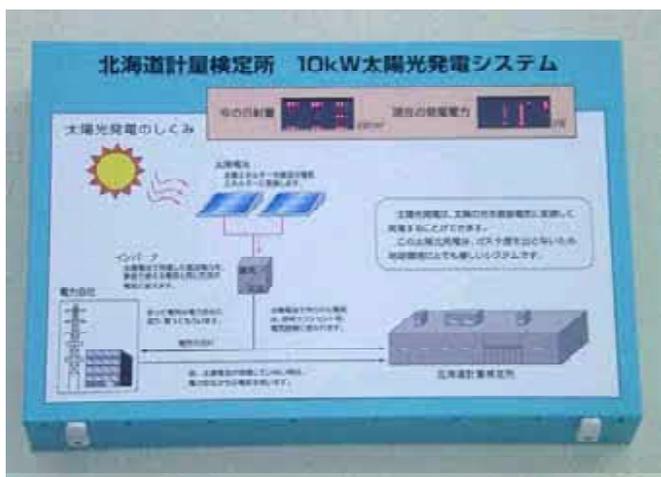
北海道計量検定所において、「北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例」及び「北海道省エネルギー行動計画」に基づき、道自らが率先して新エネルギーの導入（太陽光発電システムの設置）を図るとともに、当該設備を活用して、発電電力量や日射量等を表示し、また、当該システムにおけるデータを公表することにより、道民及び事業者等に対する普及啓発を図っています。



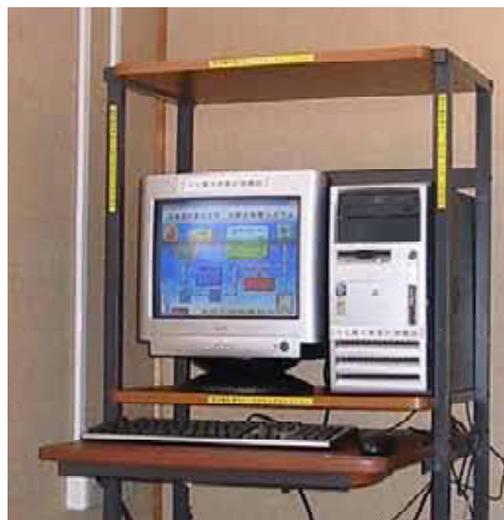
太陽光発電パネル



日射モニター



モニター装置



パソコンモニター

